

## 大鹿村リニア対策委員会報告

大鹿村ではリニア工事による生活や環境に与える影響をできる限り少なくし、リニア工事が地域経済や村づくりに貢献されるよう、「大鹿村リニア対策委員会」で要望事項や対策を検討しています。

第 14 回の対策委員会の内容を報告いたします。

### 第 14 回対策委員会（平成 28 年 3 月 24 日 午後 1 時 30 分～4 時 15 分 開催）

J R 東海、中部電力、長野県、鹿島 J V に出席を求め、リニア影響対策について説明を受け意見交換を行った。

#### ○送電線ルートについて（中部電力による説明）

- ・ 前回の対策委員会で追加要望した青木方面からのフォトモンタージュが提示された。また、他の地域の架空送電線の事例写真を紹介。その他、送電線下の電磁界は身の回りの電化製品と同程度の値であるとの説明があった。

#### ○リニア影響対策について

##### 1. 松川インター大鹿線の改良について

###### 【松川インター大鹿線のトンネル新設（2本）について】

- ・ 3 月 14 日に J R 東海と県で協定を締結した。J R 東海が工事発注（県が一部費用負担）する。
- ・ 西下トンネル（延長約 880m）、四徳渡トンネル（延長約 1,200m）、全幅 7.0m
- ・ 夏頃工事契約、工事説明会の後に秋頃から工事着手したい。

（県より補足説明）

- ・ 全体事業費約 60 億円の内、約 4 割を県で負担する。
- ・ 県から J R に対し、発注に際しできる限り地元業者が参入できるように配慮願いたいと要請している。

###### 【松川インター大鹿線の道路拡幅について】

- ・ 5 箇所で拡幅を計画。現在詳細設計を進めている。
- ・ 西下トンネル付近は法的協議や用地取得に関して他の箇所より早期対応が可能のため、最も早く工事着手できる見込み。

（県より補足説明）

- ・ 現道拡幅は J R で費用負担し、発注は県が行うことで協議を進めている。地元の企業参画も可能となるような発注方法を考えていく。また交通の制御の仕方（通行止め）も J R と検討中。できるだけ早急に発注できるよう、現在準備を進めている。道路トンネルより先に拡幅工事に着手する予定。

#### （委員意見）

- ・ 道路改良後に通行に支障があった場合の担保として協定書を締結すべき。

###### 【四徳大橋について（拡幅の検討）】

- ・ 欄干の付け替えによる拡幅が可能かどうか、道路管理者（県）と検証した。検証の結果、地震時に耐力（応力度）が不足することが判明。よって、欄干の付け替えは行わない。交通誘導員を配置する。

#### （委員意見）

- ・ 四徳渡トンネル内の待合車両は何台くらいになるか。シミュレーションできないか？
- ・ トンネル内の交通安全対策を検討、提示願う。

###### 【半の沢橋付近について（測量の実施）】

- ・ トンネル工事（2本）で発生する発生土の置き場の候補地として、半の沢橋付近で測量作業を始めた。今後、地質調査、設計を行い、発生土置場として利用可能か検討を進める。

###### 【今後の日程（住民説明会）について】

- ・ 大鹿村での計画説明会を 4 月 27 日に開催する予定で調整中。説明会では、松川インター大鹿線の道路トンネル、道路拡幅計画のほか、大鹿村から要望のある国道 152 号（市場通り）の迂回等のリニア影響対策についても説明を行う。

#### （委員意見）

- ・ 詳細なスケジュールを法手続きも含めわかりやすく提示願う。

\*裏面に続く

## 2. 赤石岳公園線改良計画について

- ・10箇所で拡幅を行う。その他2箇所で道路側にせり出した岩を削り取る。
- ・現在設計を進めており、最も早い箇所で本年春～初夏頃より工事開始予定。
- ・福德寺とイチョウの木の間の迂回等、地元懇談会の際の要望については今後検討していく予定。次回の対策委員会で計画案を示したい。

## 3. 国道152号車両通行対策について

### 【国道152号（市場通り）の迂回ルートについて】

- ・小学校前を回避するために左岸を通行、右岸に戻る際は大西桜橋を使用することで迂回を検討したい。次回の対策委員会で絵姿を示したい。

### （委員意見）

- ・大西桜橋の通行は回避願う。

### 【国道152号（青木方面）の迂回ルートについて】

- ・測量が完了。地元の意見を伺いながら絵姿ができた段階で地元に見ていただく機会を設けるとともに、対策委員会でも示したい。

## 4. 村道改良計画について

### 【村道拡幅計画（沢戸前～上蔵前の小渋川沿線）について】

- ・将来工事用車両が行き来する際に現状のままでは狭い箇所があり、現地調査を行った。今後測量を行い具体的な拡幅箇所を決めていく。

## 5. 発生土の仮置き計画について

### 【8箇所の仮置き場の範囲、仮置き土量の提示】

- ・場所ごとの土量、範囲は次回の対策委員会において絵姿で示したい。

## 6. 各環境項目の測定結果の公開等について

### 【調査結果の公表時期、方法等の説明】

- ・H27年度に実施した調査結果は、年次報告としてH28年度に報告する。県、市町村に報告を行うほか、HPで公表する。分室や役場で閲覧できる方法も考えていきたい。伊那山地の水収支解析結果について、関係機関に事前説明を行っており、説明が終わり次第公表したい。

### 【住宅地や小学校周辺でのモニタリング予定箇所及び調査方法の提示】

- ・迂回ルートが決定した後に、村と相談しながら決めていきたい。

## 7. 地域貢献等について

### 【南アルプストンネル工事 JV現場事務所、宿舎、駐車場等の計画について（鹿島JVによる説明）】

- ・沢戸地区の農地を第一候補として検討を進めている。選定理由として工事車両が増えるため、村の中心を外れた場所で工事現場近くとした。規模は建物と駐車場で約2,400坪となる。

### （委員意見）

- ・収容人数など施設の規模を提示願う。
- ・対策委員会でも村内への宿舎設置を従来からJRに求めて来ており、村内設置に向け協力すべき。

## 8. 今後の発注計画について

### 【伊那山地トンネル、小渋川変電所、小渋川橋梁の発注スケジュールについて】

- ・いずれも決まっていない。

### ○リニア対策委員任期の延長について

- ・リニア事業が遅れていることから、本年3月31日までの委員任期を延長し、9月30日までとした。

### ○大気常時監視測定局（移動コンテナ局）の設置について

- ・国道152号（赤嶺館前の村有地）に大気環境調査のためのコンテナ局を設置した。設置期間は1年間。測定項目は窒素酸化物、浮遊粒子状物質、風向、風速の4項目。

### ○次回開催（予定）について

- ・次回の開催予定を平成28年4月20日 13:30～とした。

※現在行われているリニア着工前の調査状況は、大鹿村ホームページ、大鹿村ケーブルテレビ文字放送・データ放送で確認いただけます。